

# 大型機の発着が可能に

成田空港B滑走路が延伸



放水のアーチで祝福されB滑走路へ向かう一番機



式典でテープカットをする小泉市長

成田空港B滑走路が2、500メートルに延伸されたことを祝う式典が10月20日、同滑走路北側の誘導路前特設会場で行われました。式典では森田知事、小泉市長ら関係者によるテープカットが行われ、B滑走路の延伸を祝福。22日には、一番機となるジャンボ機（ボーイング747）が函館に向け、飛び立ちました。

## 給食に米粉パン

### 肉や野菜をサンドして 大満足

“地産地消”を進めようと、成田産米を使った「米粉パン」が10月20日、小学校の給食に出されました。今話題の米粉パンが市内小中学校の給食の献立となったのは今回が初めて。肉や野菜を挟んで食べた児童たちは「おいしい！本当にお米からできてるの？」と笑顔を見せていました。市学校給食センターでは、今後も年に数回提供していく予定です。



米粉パンをほお張る児童たち(橋賀台小学校で)

ラ・フェスタ ミッレミア2009

## 往年の名車95台が 優雅な走り



一斉にカメラを向ける観客たち(表参道)

クラシックカーによる国際カーレース「ラ・フェスタ ミッレミア2009」の参加車95台が10月13日、成田市を通過しました。40～80年前に製造されたブガッティやベントレーなどの名車に、沿道の観客たちは声援を送りながらカメラをパチリ。ドライバーたちも笑顔で応えていました。



参加者の安全を祈願

ガスコンロ・ガスオープン寄贈

## 千葉ガスから公民館に

安心・便利なガス製品を多くの市民に使ってほしいと千葉ガス株式会社成田支社が10月20日、ガスコンロ13台とガスオープン6台を公民館に寄贈しました。ガスコンロは中央公民館に7台、成田公民館に6台、ガスオープンは成田公民館に設置。同社の戸村成田支社長は「サークル活動やイベントなどに使っていただければ」と話していました。



目録を贈呈する千葉ガス成田支社長の戸村さん(右)。中央下がガスコンロ

市長の農業視察

## サツモイモの収穫を体験

市内の農業状況の視察と収穫作業を10月22日、小泉市長が行いました。まず、訪れたのは大栄地区の甘しょ育成研究会の圃場。農機具を操作しながら、ブランドサツマイモ「大栄愛娘」<sup>たいえいあまむすめ</sup>の収穫作業に挑戦しました。その後、遠山地区へ移動して丸成園芸出荷組合の圃場で、新品種のサツマイモ「クイックスweet」の収穫作業を体験。視察後、市長は「大栄愛娘のようにいろいろな農産物で成田のブランド力を高めたい」と話していました。



自走根菜類収穫機に乗り作業をする小泉市長

中国教職員招へいプログラム

## 歌声で“熱烈歓迎”

日本と中国の相互理解を深めるために実施された「中国教職員招へいプログラム」。その一環として10月22日、中国の教職員26人が吾妻中学校を訪れ、授業に参加したほか全校合唱を参観しました。合唱の合間に行われた質疑応答では、



中国の教職員と生徒たちが通訳を通して盛んな意見交換を行いました。

中国の教職員からは日ごろの学校生活についての質問が



全校生徒による合唱の披露